

環境に係る情報協議会

国営農地再編整備事業 富良野南富地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「富良野市及び南富良野町市田園環境整備マスターplan」より）

【現状】

富良野市 大雪山国立公園、富良野芦別道立自然公園、東京大学演習林が隣接し、雄大な景観とさまざまな野生動植物が息づく豊かな自然環境に囲まれている。これらの自然環境は、地域住民の生活を豊かにするとともに、雄大な農地の背景を成す景観要素であり、彩り鮮やかに広がる農地と一緒に田園景観を形成している。また、特徴的な観光資源として活用され都市と農村の交流の場となっている。

南富良野町 南富良野町は、空知川が中央を貫き、空知川の両岸に農地や山林などの丘陵地を形成し、空知川の支流が縦横に走っており、北東には大雪山系の十勝岳、南には日高山脈、西には芦別岳、夕張岳を主峰とする夕張山脈が南北に縦走するなど、四方が険しい山並みに囲まれ、恵まれた自然景観資源を有している。

【課題】

富良野市 自然環境の破壊が懸念されるなか、農地や森林などの自然資源の積極的な保全と回復を行い、人と自然が共生できるまちづくりを進めることが重要である。また、農村部での里山的自然や二次的自然に対する価値認識は低下しており、生態系を含めた多種多様な保全活動が必要である。

南富良野町 土地利用の多くが天然林として豊かな自然を形成しているが、降雨時には土壤流亡が激しく、空知川やかなやま湖の汚濁の原因となっている。また、近年、エゾシカの生息頭数が増加し農作物への被害が顕著となっており、ヒグマへの対応も含めて効果的な対策が課題となっている。

《環境保全の基本的考え方》（「富良野市及び南富良野町市田園環境整備マスターplan」より）

富良野市 「持続可能な農地の保全と活用、森林の保全と育成」「魅力ある森林・農村景観の保全と都市景観の形成」の2つを基本方針に掲げ、豊かな「農村景観」形成の達成を目指すものとする。

南富良野町 水田の持つ洪水防止機能や地下水貯留機能など多面的な機能を維持保全する。また、石狩・空知管内を含む広い地域の生活及び産業の資源である空知川の水量及び水質の保全に努める。

2. 環境配慮方針

《基本方針》

本地区は、北海道富良野市及び空知郡南富良野町に位置し、一級河川石狩川水系空知川及びその支流に広がる農業地帯であり、芦別岳を背景に農地、河川及び河畔林により農村景観が形成されており、農地及びその周辺では希少な魚類等多くの生物の生息・生育が確認されている。

本事業においては、富良野市及び南富良野町の田園環境整備マスターplanとの整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

《取組内容》

(1) 生態系への配慮

- 工事区域内において保全対象種を確認した場合、工事区域外の生息・生育に適した場所への移植等を行う。
- 魚類等への生息環境に配慮し、工事中は濁水流出防止施設を設置し、濁水流不出を防止する。

(2) 景観への配慮

- 施工後の法面を植生し、周辺景観との調和を図る。